

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		商店街等指導事業			事業コード	1271
担当課等	所属名	商工観光部 商工課		担当係名		
	課長名	商工観光部商工課長 沼田 秀彦	担当者名	商工観光部 商工課	電話番号	3715

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	多様で活発な商業・サービス業の振興	コード 3
	基本事業	魅力ある商店街の形成支援	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 2目 商店街等指導事業(014-01)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 10年度～)		
事務事業の概要	商店街及び商店街青年部等の近代化及び振興、知識の高度化を図ることを目的とした講習会等の開催支援					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
大規模小売店舗の郊外出店や景気の低迷等により、商店街や個店の経営環境が厳しくなっているため、適切な指導助言が求められているが、商店街等においては講師謝金や招聘旅費を負担することが難しく支援が必要な状況であるため実施したもの。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
商店街振興組合等の団体から講師派遣により経営向上に寄与しているとの意見が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
大規模小売店舗の進出や景気回復の地方への波及の遅れ及び東日本大震災により、商店数が減少し空き店舗が増加している。商店街そのものが構成できなくなる可能性もあり、地域経済に与える影響は大きく、この傾向は当面継続していくものと想定される。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	商店街及び商店街青年部、業界団体等	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市内商店街等の団体数	単位	団体
				B. 市内小売業商店数(商業統計)	単位	店
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 各商店街等の求めに応じ、指導講師を派遣した。 ①指導講習会開催連絡 ②講習会開催日時場所選定 ③講師派遣 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①商店街等指導講師派遣事業では、商店街等に対し講師を派遣し指導を行う。 ②近郊商店街等活性化支援事業では、中心市街地以外の商店街等へ継続的に講師を派遣し成果を高める。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 指導実施回数	単位	回
				B. 指導商店街団体数	単位	団体
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	大規模小売店舗の進出や景気の低迷などで、全県的に空き店舗率の上昇に置かれている商店街の状況を改善すると共に、所属員の高度な知識の習得を図り、商店街の魅力を高める。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 市内小売業商店数(商業統計) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	店
				B. 市内小売業年間販売額(商業統計) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	百万円
				C. 市内小売業従業者数(商業統計) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	人
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	商店街ににぎわいがある	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	中心市街地の小売年間販売額(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市内商店街等の団体数	団体	35	38	38	38	38	38	26年度 38
対象 指標B	市内小売業商店数(商業統計)	店	2851	2,851	2,851	2,851	2,851	2,851	26年度 2,851
対象 指標C									年度
活動 指標A	指導実施回数	回	8	12	7	5	7	7	26年度 7
活動 指標B	指導商店街団体数	団体	8	22	5	5	5	5	26年度 5
活動 指標C									年度
成果 指標A	市内小売業商店数(商業統計)	店	2851	2,851	2,851	2,851	2,851	2,851	26年度 2,851
成果 指標B	市内小売業年間販売額(商業統計)	百万円	366,753	366,753	366,753	366,645	366,645	366,645	26年度 366,645
成果 指標C	市内小売店従業者数(商業統計)	人	21,713	21,713	21,713	21,713	21,713	21,713	26年度 21,713

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	478	767	767	437	767	767	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	478	767	767	437	767	767	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	478	767	767	437	767	767	*****
	延べ業務時間数	時間	20	35	30	50	80	80	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	80	140	120	200	320	320	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	558	907	887	637	1,087	1,087	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 商店街及び商店街青年部等の活動が活性化することで商店街全体に活気が生まれ、活力あるまちづくりに寄与することになる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	㊦「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 各個店の経営向上や商店街及び商店街青年部等の活性化は、都市の発展及び固定資産の価値向上等につながるため市がやるべき事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	㊦「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 商店街及び商店街青年部・各種業界団体など市内で活躍する商業団体の近代化や知識の向上に寄与する事業であり、対象は現状のままでよい。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	㊦「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 商店街及び商店街青年部等の活動の活性化を目指しており、変更は考えられない。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 商業環境や消費者ニーズに対応した適切な指導を促すため、各団体に制度の周知を図る。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 商店街及び商店街青年部等の研鑽機会が減少し、商店街活動等が沈滞し、街の活力が失われる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 中小企業基盤整備機構による中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業等 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 商業機能の整備やソフト事業の実施等に係るアドバイスを3人・日まで無料で受けられる点が類似しているが、アドバイスを受けられるのが中心市街地活性化協議会に限られているほか、アドバイスも認定基本計画に記載されている事業に限られるなどと異なっているため、統廃合や連携することが難しい。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 講師の充実により知識の向上が図られるものであり、事業費の削減による知識習得機会の減少は街の活力の低下を招く。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 講師派遣制度の案内や講習会への出席など必要最低限の業務時間数となっており、削減余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市で把握している市内全ての商店街等に通知を行い、先着順かつ予算の範囲内で対応しており公平・公正であると考えられる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 会場費及び事業費等について相応の受益者負担があるため、公平・公正であると考えられる。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 指導効果(成果)が上がるように、商店街等に対しフォローアップを行っていく必要がある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 経済情勢等の影響により、フォローアップの指導効果が出にくいケースも想定される。これを克服するためには、指導内容を長期的観点から理解し実践してもらうよう、市が当該商店街等と連携を取りながら継続的に話し合いを行っていく。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>指導実績を伸ばし、商店街の活力ある基盤形成につなげてきた。今後も継続的な指導が望まれ、特に若手経営者との連携を図っていく。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>商店街の魅力を高めるためには、経営能力の向上等事業者が抱える課題を研修や指導により支援を継続していく必要がある。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								